

これからの学校教育を考える

【開催日時】6月2日(土)・6月23日(土)・7月8日(日) 14時~17時

【開催場所】教育学部11番教室(6/2、6/23)・A-21番教室(7/8)

【募集者数・対象者】50名(教育・教育行政関係者、特にスクールリーダー・地域リーダーを志す教員)

【事前申込締切・申込先】平成30年5月25日(金)・教育学部総務班(FAX:095-819-2265 裏面参照)

【受講料】3000円(当日参加可能で、座席数に制限あり。但し1000円/人・日を、当日お支払い下さい)

1日目

講演① 元教育次長 山崎 滋 夫
「教育の不易と流行」とは?(仮題)

講演② 前長崎大学長 片峰 茂
「グローバル化と学校教育」(仮題)

進行役 教育学研究科長 松元浩一

テーマ:教育, 不易・流行, グローバル化, 多様性, 子ども, 教師

2日目

講演① 前長崎県教育長 渡辺 敏 則
「行政から見たこれからの教育への期待」(仮題)

講演② 県社会教育連絡協議会会長 江頭 明文
「子どもが輝くための学社融合とは」(仮題)

進行役 地域教育総合支援センター教授 池田浩, 准教授 井手弘人
テーマ:少子高齢社会, 開かれた教育課程, 社会教育, 人材育成, 地域資源

3日目

講師① 教授 中村 典 生
「小学校での英語の学びの意義と課題」(仮題)

講師② 准教授 内野 成 美
「多様化する家庭環境・子どもと教育」(仮題)

講師③ 准教授 藤井 佑 介
「アクティブラーニングの意義と課題」(仮題)

進行役 研究担当副学部長 藤本 登

テーマ:多様性, インクルーシブ教育, 英語教育, 学び方, 連続・継続性

公開講座概要

【目的】

長崎県及び長崎大学大学院教育学研究科教職実践専攻が求める学校における管理職教員について、長崎の教育歴史や教育観を踏まえながら、これから求められる学校や教員のあるべき姿について、卓越した実績を持つ教育行政・教員経験者と大学教員の話題提供を元に、会場参加型の学び合いを展開することで、「これからの学校教育を考える」機会を提供することで、長崎県の教育界に貢献する。

【開催日時・講師・場所】

平成30年6月2日(土)、6月23日(土) 14:00～17:00、教育学部11番

平成30年7月8日(日)14:00～17:00、教養教育(環境科学部棟)A-21番教室

開催日	第1講演者(60分)	第2講演者(60分)	司会・コーディネーター(討論40分)
6/2(土)	山崎滋夫 元教育次長	片峰茂 前学長	松元浩一 研究科長
6/23(土)	江頭明文 元教育次長	渡辺敏則 前県教育長	池田浩教授、井手弘人准教授
7/8(日)	藤井佑介准教授、中村典生教授、内野成美准教授 各講演(40分)		藤本登副学部長

【講師陣の講話内容(案)】

- 山崎滋夫先生:長崎の教育の歴史を踏まえて、教育とは何か、教師とは何かといった教育の普遍的な考え、捉え方について
- 片峰茂先生:高等教育まで含めた教育観とこれから求められる大学教育や長崎県人(グローバル人)について
- 江頭明文先生:地域や社会が求める学校、特に学校と地域の連携や地域の文化の中心としての学校のあり方について
- 渡辺敏則先生:行政の視点から、教育のあり方について(これからの長崎県の教育に期待すること)
- 中村典生先生:小学校外国語から見たグローバル人材の育成について
- 内野成美先生:インクルーシブル教育やいじめ等への対応や予防について
- 藤井佑介先生:期待されるアクティブラーニングにおける学びとは何かについて

【講座構成】

司会者挨拶・講師紹介 → 講演1 → 休憩(質問用紙記入) → 講演2 → 休憩(質問用紙記入) → 会場を交えた討論(集計された質問を活用)

【企画・問合せ先】

長崎大学大学院教育学研究科教職実践専攻 専攻会議

長崎大学教育学部 藤本登(☎095-819-2360 E-mail:n-fuji@nagasaki-u.ac.jp)

----- 参加申し込み表 -----

氏名	所属	連絡先	参加日			
			6/2	6/23	7/8	全日

連絡事項: